

KGA

'04夏季号
2004年9月1日発行



NO. 86

目次

- ゴルファーのためのマナー基礎講座(15)
先達を思う 1
- 平成16年度 関東女子ゴルフ選手権決勝競技 3
- 平成16年度 関東アマチュアゴルフ選手権決勝競技 7
- 平成16年度 関東ゴルフ連盟対抗決勝競技 12

- 平成16年度 関東グランドシニアゴルフ選手権決勝競技 20
- 新規加盟倶楽部紹介・理事会・分科委員会 24
- 月例競技成績表・お知らせ 28
- 表紙Photo 関東ゴルフ連盟 対抗決勝競技
霞ヶ関カンツリー倶楽部（東コース10番ホール）
(撮影：伊室一義/KGA広報副委員長)

 関東ゴルフ連盟

ゴルファーのためのマナー基礎講座

15

ゴルファーのためのマナー基礎講座

「先達を思う」

文・田野辺 薫
カット・山縣 和彦

◆◆ 出でよ！“白洲次郎” ◆◆

挿話に語らせてことから始めよう。

数年前、群馬県のあるゴルフ場で、開場20周年記念競技にゲスト参加した。祝賀会席上指名されて、「つぎの10年、名門コースをめざすには何をしたらいいか」と訊ねられた。

私は、躊躇なくすんなりと答えた。

「一人の白洲次郎をつくりなさい」

筆者は、日本中で、純粹にプライベートゴルフの雰囲気を保っているのは軽井沢ゴルフ倶楽部だけだと思っている。そこには、小走りになる人も声高に話す人もいない。上質な空気が満ちていって、それはコース上にまで及んでいる。白洲次郎氏は、その伝統を守り抜いた人である。

白洲氏は終戦直後、終戦連絡事務局次長として、吉田内閣とGHQの間に立って、日本国憲法を翻訳し、「天皇は象徴」と訳した人物、講和条約にも関わった。戦前から軽井沢ゴルフ倶楽部に入会、76年から17年間常務理事。マナーにうるさく、クラブハウスのベランダに座ってメンバーのマナーに目を光らせ、君臨しているといわれた。ターフを埋めない人がいると

駆けつけて怒り、自身は、絶対にターフをとる打ち方はしなかった。

伝説化した挿話が二つある。プレーはいつも「プレー・ファースト」。背中に「PLAY・FAST」と染抜いたシャツを着用してプレー、シャツはクラブハウスでも売った。二つは、当時某省大臣だった田中角栄元首相の入場を、「メン

バー同伴がない」と拒否して話題となった。プライベートクラブのプリンシプル（主体）を守るには、権力者も例外ではなかったのである。

要するに“一人の白洲次郎”とは、クラブのプリンシプルを弁える“迫力のある老先輩”的ことだ。軽井沢ゴルフ倶楽部に限らない。程ヶ谷カントリー倶楽部には、マナーにきびしい井上信氏がいた。荒川河畔の浮間ゴルフリンクスは、昭和30年代の東京住いのゴルファーには町道場だった。皆が世話になった。パブリックというのにここにも“白洲次郎”が一人いた。朝日新聞出身の植村睦男氏である。学生ゴルフ登龍門信夫杯の創設に関わった老先輩である。

昼になると、荒川土堤から植村老が双眼鏡で見渡している。チョロチョロしていると、昼めし時にお呼びがかかる。

「君はまだコースに出るのは早い。今日のプレーはいらないから、あと6ヶ月練習ボールを打って出直しなさい」とお灸を据えられた。

因みに当時はハンディ 28、100を切るのがコースへ出る免許ラインだった。今なら40%のビジターが不合格だろう。



鷹之台カンツリー倶楽部、横田正成名誉書記も妥協のないこわい人だった。コース建設途中、設計の井上誠一氏と意見衝突、井上氏は4番ホールを終わった段階で降りてしまった。その相手である。当時ゴルフ場は全国で90コース弱、ビジター・コンペも名門ばかりで、鷹之台カンツリー倶楽部へ

頼むことわざ。八重洲口の鉄鋼会館ビルの横田名前記に組合せを提出する。OKを貰ってプレーする。数日後成績表を持って再び参上する義務があった。横田さんは、成績表をしげしげと見て

「ハンディ20で120叩くのは怪しい。ほんとは36じゃないか。罰として今年いっぱいコンペは駄目」

とペナルティを貰った。しかし当時「餓鬼がゴルフをやるのか」と批判される中で、ジュニア選手権を早く引き受けてくれたのも鷹之台カントリー倶楽部だった。迫力ある老先輩は、やさしい理解者でもあった。

◆ 宽容さを失わせたスコアへの拘り ◆

鳴尾ゴルフ倶楽部の8番ホールは、山裾をぐるりと回る。その山を服部山という。昭和20年代に17年間ハンディキャップ委員長を勤めた服部倫一氏に因む。服部氏は、OBぐさい、ロストボールか、となるとポケットに6個のボールを持っていて、サッと予備球を打った。手間どるのは、パートナーの時間を空費させるもので失礼、というモットーだったと鈴木康之氏が紹介している。マナー、エチケットの達人である。

いつの頃から、「白洲次郎」のような迫力ある老先輩の姿が消えたのだろうか。

千葉県のあるコースでフェローシップ副委員長をしている友人がいる。ある日、前の組が乗用カートをグリーンエプロンまで乗り上げているので、注意した。ところが昼時、クラブハウスに戻ると、支配人が寄ってきて、

「お客様にあまりガミガミ言わないでください。強い抗議がありました」

と咎める風だ。支払うプレー料一分は存分に遊ばせろということらしかった。

バブルの頃。ある老プロゴルファーが、先生役でプライベートコンペに参加していた。一人のプレーヤーが、いつもの仲間

内ゴルフのつもりで、約20センチを「OKだね」とばかり拾い上げた。すぐアピールがあった。

「ストロークプレーにOKはないよ」

裁定を求められた老プロは、「今回はいいが、つぎから注意しなさい」と優しい。「白洲次郎」はどこへ行ってしまったのか。

「白洲次郎」はどこへ行ったか。老先輩たちはいつから迫力を失してしまったのだろうか。

ひとりの白洲次郎もいなくなつたかわりに、2004年「ゴルフ規則」は、第一章エチケットに「ゴルフの精神」を設け、甚だしいエチケット違反は競技失格になると規定された。それにしてもエチケットを大声で言い立てねばならぬとは情けない。ゴルフ精神の退化である。

恐らくゴルフのエスプリ（精髄）が劣化し始めたのは、ゴルファーの大量参加で、競技の主流がマッチプレーからストロークプレーに移ったのが原因だろう。面と向かって雌雄をきめるマッチから鉛筆なめなめの運動会ゴルフに変わってしまったからだ。「スコアだけに拘るのはゴルフにおける守銭奴と同じ」とドナルド・ロスが嘆き、「ストロークプレーは個人主義の産物」だとフレディ・ティトが心配したように、スコアへの執着が、ゴルフ本来のおおらかさ、寛容さを失わせているのだ。

せめてもの提案だが、日曜日にはサンデーフォアサムを実行してみたらどうだろう。クラブハウスに到着した順に4人ずつテーブルにつく。朝食

をとる。フォアサムで1日をプレーする。戦前の程ヶ谷、東京でやっていたことだ。アメリカの名門では今も珍しくない。4人の中に一人の「白洲次郎」がいればなお素晴らしい。若い会員は、彼のエチケット、マナーにはきびしいが人ととの触れ合いにおおらかな、気骨ある振舞いに学ぶだろう。エチケットも倶楽部の伝統もそのように教えられ受け継がれてゆく。それが理想である。



アプローチとパットで 勝利に結びつけた15歳の期待の星

難ホールを克服、 若林選手が念願の初優勝

文・森口静彦（KGA広報委員） 写真・塚越克一（KGA広報委員）

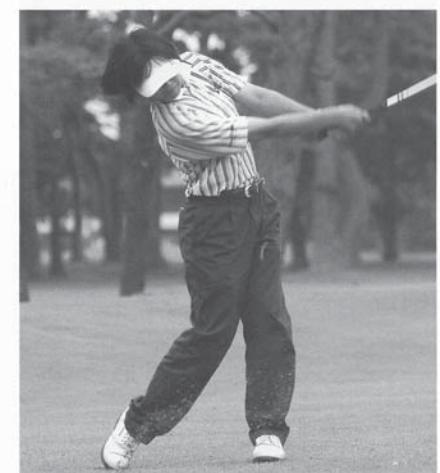


最終日69の好スコアで逆転優勝した若林選手

の女性が白球を打って歩く姿は「ミレーの絵だ」と書いている。

風薫る5月、新緑の中で繰り広げられる関東女子ゴルフ選手権にとって我孫子ゴルフ倶楽部は最高の舞台だ。本競技が女子競技のため、7番ホール（204ヤード：パー3）は167ヤード：パー3とし、17番ホール（418ヤード：パー4）は、326ヤード：パー4とするなどの措置がとられた。

1日目、薄曇り。寒からず、暑からずのゴルフ日



優勝した若林選手の素晴らしいアイアンショット

★ 濱谷選手の見事なエース

関東女子ゴルフ選手権の歴史は古く、昭和30年（1955年）第1回の競技から数えて、今年で50回となる。会場となる我孫子ゴルフ倶楽部は樹木の種類の豊富さで知られている。

「新緑の賞すべきは、何といってもゴルフ場だ」で始まるゴルフ随筆「新緑の波」の中で、邦枝完二は「春光や赤きセーターもまじりたる」なる俳句を残し、緑のフェアウェイの中を赤いセーター

和。欠場3名があり、135名で熱い戦いが展開された。昨年は小山恵利子選手（関東ジュニア）、若林舞衣子選手（関東ジュニア）、藤田幸希選手（パークレイ）のティーンエイジャー3人が2日間を終え、147ストロークで並び、プレーオフの末、小山選手の優勝であったが、その小山選手はどうしたことか、この日は84も叩いてしまった。藤田選手は76、若林選手はしっかりバーブレーでホールアウトした。

初日-1でトップに躍り出たのは、平成13年度関東ジュニアゴルフ選手権（15歳～17歳の部）で優勝した佐藤里菜選手（ロイヤルスター）。2位タイ（±0）は、若林選手と、篠塚美幸選手（富里）、鯉渕梨沙選手（紫塚）の3名。76ストロークまでに17名がひしめきあう混戦となつた。

瀧谷知里選手（フォレスト）がこの日、池越えの名物ホール13番（133ヤード：パー3）でエースを達成した。7番アイアンでのナイスショットがワンバウンドでカップイン。「見事なホールインワン」だったという。本人にとって初めてのエース達成であった。

新潟からはるばる参加した甲斐があったというものだろう。



最終日に逆転された佐藤選手のティショット



初めてのエースを達成した瀧谷選手

★ 最年少、福嶋選手に次ぐ15歳の勝利

最終日、ハーフを終えてスコアが次々と入る中、「最終組の若林選手が飛び出した」という情報が飛び込んできた。若林選手はアウト2番ホールでボギーの後、5、7、8、9番ホールでバーディを取り、-3の33をマークしたのだ。一方、-1でトップだった佐藤選手は2番ホールでボギー、残りはパーで+1の37。この段階で通算±0。若林選手に逆転された。

優勝争いは、最終組の4人に絞られた。早速、最終組のバックナインのギャラリーに加わった。

若林選手は10番ホールパーの後、最も難度の高い11番ホール（380ヤード：パー4）で2打目を左の深いバンカーに入れた。しかし、ナイスアウトしてワンバットのパー。16番ホール（373ヤード：パー4）も2オンに失敗、アプローチはカップを約1mオーバー。返しをワンバットで沈めてパー。これらの難ホールを冷静に処理できたのが若林選手の成長を如実に物語っている。残りのホールは全てパーオン2パットと手堅くまとめ、インはノーボギー-36。-3をキープした。最終日のスコアは69、初日の72と通算141で見事な逆転優勝だ。

追う立場に立った佐藤選手は正確なショットで何度かバーディチャンスに恵まれながら、パットが決まらない。15、16番ホールではボギーを叩き、ついにその差は5打。最終18番ホール（390ヤード：パー4）でも絶好の位置に付けながら、バーディが取れず、通算146で5打差の2位に泣いた。

若林選手は「昨年の関東女子ゴルフ選手権はブ

レーオフで敗れたのが悔しくて、何とかもう一度挑戦して勝ちたいと念願していたので、思い通りになって嬉しい」と素直に喜んだ。

昨年の関東女子ゴルフ選手権の後、関東ジュニアゴルフ選手権（女子12歳～14歳の部）で優勝、日本ジュニアゴルフ選手権（女子12歳～14歳の部）で優勝、日本女子アマチュアゴルフ選手権、日本女子オープンゴルフ選手権等々多くの競技に出、試合経験を積んだ。それに、毎日の腹筋、背筋のトレーニングとバター練習を欠かさなかったという。最終日は、「ショットの精度が良くなく苦しい戦いだったが、パットとアプローチに救われた」と自己分析した。練習ラウンドでも68を出していたという。最終日の69は決してまぐれではなかった。

去年はあどけない顔の中学生3年生だったが、今年は、新潟の私立開志高校1年、身長165cmのしっかりした競技ゴルファーに成長した。

本競技の最年少優勝記録は、福嶋晃子選手の15歳10ヶ月25日（平成元年）である。一方、若林選手は15歳11ヶ月10日であり、わずかに15日遅いだけであった。今後の活躍が期待される選手である。

★ 2組の親子出場と記録の比較

表彰式で吉田理事長から「親子で参加する人達が増えている」と挨拶があった。

南雲真理（母）・貴菜（娘）組。母親は本競技のみならず、日本女子アマ選手権など常連のベテラン選手。貴菜選手は小学校3年の頃からゴルフを始めたが、バスケットのほうが好きだった。しか



親子で出場した南雲真理さん（左）と貴菜さん

し母とゴルフをするうちに、面白くなってきて、昨年夏、バスケット部を退部して本格的にゴルフを始めた。今年4月、ゴルフの名門東北高校に進学。「娘は初出場で決勝に進むことが出来た」と母親は眼を細める。娘は「目標は母」という。ゴルフが結ぶ美しい親子関係である。

江澤三保子（母）・三智子（娘）組。三智子選手は本競技では既にお馴染み。今回母親が決勝進出して親子出場が実現した。いつも家族皆でゴルフを楽しんでいるという羨ましいゴルフ一家だ。

我孫子ゴルフ俱楽部では、過去2回（昭和41年、43年：以下「当時」という）関東女子ゴルフ選手権を開催した。当時のゴルフは男性が中心。女性ゴルファーは極めて珍しく、当時の参加者は社会人を主に52～53名、決勝進出は31名にすぎなかった。本競技の予選参加者261名、決勝進出138名とは比較にならない。

優勝スコアは昭和41年（6,575ヤード：パー73）里見真佐子選手255（126-129：1日27ホールを2日間）。昭和43年（6,175ヤード：パー73）樹井英佐子選手248（124-124：1日27ホールを2日間）。単純計算だが9ホール当たり41.3～42.5となる。一方、本競技の優勝スコア141は単純計算で9ホール当たり35.3となる。同時に比9ホール当たり6.0～7.2も改善し、格段の進歩だ。

女子ゴルフの底辺拡大、技術の質的向上等を示す貴重な資料といえよう。この次、我孫子ゴルフ俱楽部で開催される時、どのようなデータが取れるか。楽しみである。



同じく江澤三保子さん（左）と三智子さん

争いになったのである。最終日、観戦子はインの9ホールを随伴した。アウトは額賀が35、伊藤は39だった。この時点で両者の差は5つになっていた。9ホールで5打差。勝負あつたかに思えたが、最終日のバックナインに波乱はつきものだから、決して目は離せない。「追撃者」があきらめない限り、何かが起こるのがバックナインである。1パーセントの可能性が100パーセントの成果をもたらした例は過去にいくらでもあるのだ。

● 風雲急を告げ、5打差が1打差に

10番、額賀はティショットを左の林に入れボギーを出す。伊藤は「寄せワン」のパーだった。11番(172ヤード、パー3)は、額賀がグリーン中央に1オンし2バットのパーで収め、伊藤はグリーン手前のバンカーに入れ2オン2バットのボギー。12番は630ヤードの長いパー5だが、両者とも3オン1バットのバーディ合戦を演じた。

13番(392ヤード、パー4)も両者ともパーだった。差は相変わらず5ストロークのまま、14番(420ヤード、パー4)を迎えた。額賀はティショットを右のラフに入れ、2オンが果たせず、バットも入らず、ボギーを出す。伊藤はフェアウェイにティショットをキープし、2オンした5メートルほどのバットを入れてバーディを獲る。

5打差が3打差となり、風雲急を告げ始めたところで、額賀は15番(318ヤード、パー4)で目の覚め



最後まで額賀選手を苦しめた伊藤選手のアイアンショット

るような会心のティショットを放ち、グリーン手前20ヤードほどの所まで飛ばす。そこから入れごろ外しごろに乗せたものの、フックラインが入らずバー。伊藤はティショットをアイアンで打ち、100ヤードあるかなしかにセカンドショットを、これまた入れごろ外しごろに乗せたものの入らずバーに終る。

残り3ホール。差は3ストローク。16番は176ヤードのパー3。ピンはセンターの奥寄りに立っていた。2人はそのピンを攻め、2人とも奥のカラーへわずかにこぼす。伊藤のほうが少しばかり遠い。バターで打ち入れる。誰かが「ナイスバーディ」と叫んだ。プロならそこでガツボーズのひとつもやって見せるところだろうが、伊藤は表情ひとつ変えず、カップからボールを拾い上げ、額賀に向かってピンを抜くかどうか、視線を投げかける。額賀は肯き、伊藤は抜いたピンを持ってグリーンの外へ引き退く。

2人とも実に淡々としたものだった。額賀もバターで転がし、これは外れた。彼も表情ひとつ変えない。

「ゴルフでは起きたことに鋭敏に反応してはいけない。やわらかく遣り過ごすことです」

という中部銀次郎のアフォリズムが観戦子の脳裡にうかんだ。入れたほうも、外したほうも、清流に身をまかせる若鮎のような清涼感を漂わせていた。

が、チャンピオンシップの行方はますます風雲急を告げた。残り2ホール。差は2ストローク。17番は517ヤードのパー5。オナーの伊藤はティショットを左のセミラフに入れたもののセカンドショットでグリーン脇まで飛ばし、3オン1バットのバーディを獲る。額賀はティショットを左の林方向へ飛ばし、木の根元に止ってボールを左打ちせざるを得ないセカンドショットを強いられる。

「すわ、一大事!」

とばかりに、その場をギャラリーが遠巻きにする。しかし額賀は相変わらず淡々としていた。ショートアイアンを裏返しに持つと手慣れた様子で左打ち。ボールはセミラフに脱出したが、グリーンまでの距離はまだかなりあった。3打目はグリー

ン左側のバンカーに入った。それを1.5メートルほどに寄せ、ボギーのピンチを4オン1バットのバーで収める。

残りの1ホール。差はついに1ストロークになった。最終ホール(458ヤード、パー4)は風雲そのものの成り行きとなり観戦子は先回りして、セカンドショット地点左側のラフで待機した。目の前にバンカーがあった。そこへボールが転がり込んだ。伊藤のボールだった。ややあって、反対方向の林の中で「ガサッ」という木の枝にボールが当たった音がした。額賀のボールだった。音はしたけれど姿は見えず、しばし探索する。隣接ホールのセミラフにあった。

セカンドショットは伊藤が先に打了が、右側の林の中でボール探索をしていた観戦子はそのショットを見ていなかった。ギャラリーがざわめいた先を見ると、伊藤は左隣のセミラフあたりを歩いていた。木に当たり左に跳ねたのだ。次に額賀が打了。林を越え、本グリーンの右側にあるサブグリーン右側のバンカーに入った。ピンはそのターゲットライン上の手前に立っており、しかもバンカーが介在していた。バンカーの先に立つピンをバンカー越えにバンカーショットをするといふまるで三重苦のような状況であった。

次に伊藤が左の林越えに第3打を打了。ボールは空中に舞い上がり、グリーン奥の傾斜面に止った。額賀が「三重苦」のバンカーショットをした。ボールは介在するバンカーに転がり落ちた。両者とも3オンを果たせず、伊藤は下り斜面からのアプローチが、額賀は落としどころの狭いバンカーショットが、第4打になった。「この寄せ合いか、伊藤君のほうが有利に見えるのでブレーオフの可能性が高くなりましたね」

競技副委員長の稲川廣政氏がそういった。われわれは「現場」からかなり離れた位置で観ていたので、ライを含めた細かい状況は確認できなかつたが、両者の心理状態を慮れば5打差を1打差まで追い上げた伊藤のほうにアドバンテージがあるようと思えた。

「それにしても、伊藤君はこの1年ですっかり逞しくなりましたね。去年は少年の体つきだったけ



松本委員長を中心に、優勝した額賀選手(右)と2位の伊藤選手
ど、今年は青年の体つきをしていますもの
観戦子がそういうと、稲川氏も肯きながらいった。

「まったく、スウィングの芯棒がこの1年で見違えるくらい野太になりましたね」

ドラマチックなフィナーレは、そんな“老人”的会話をよそに突然訪れた。伊藤がアプローチを1ピンあるかなしかに寄せたあと、額賀はバンカーショットを、ものの見事に直接入れたのである。“老人”は顔を見合わせるばかりだった。伊藤はバットを外し、ダブルボギーで終わった。

● 感性で打ったバンカーショット

表彰式までの短い時間に額賀と一問一答した。
——まずは率直な感想を。

「今日はティショットが暴れたので苦労しました。右と左、両方に曲がったため修正しようがありませんでした。コースが狭いこともあったし……」

——17番の“左打ち”は何番で打ったの。

「8番アイアンです。遊びで左打ちもやっていでのうまく打てました」

——18番のバンカーショットは見事だった。17番でもうまく打っていたし、バンカーショットは上手だね。自分なりにコツはあるのかな。

「コツというか、イメージで打っています。バンカーショットは嫌いじゃないし、いろんな

レディースが観た「関東アマ」
爽快で清々しいプレーぶりに感服
西田 美千子（KGA広報委員）

『関東アマ』を観戦したのは、今回が初めてですが非常に参考になりました。一時は5打差あったのに、最終ホールでは1打差になった試合展開そのものを面白く観させて頂いたのですが、そのこともさることながら私が感心したのは若い選手の清々しいプレーぶりでした。

ミスしても腹立たしさや怒りの表情をあらわにすることもなく、ギャラリーから「ナイスショット！」の声が掛かればきちんと帽子に手をそえて応えるし、メモを取り出して時間を浪費するようなスローブレーもなく、いかにも「スポーツしている」という感じがして、実に爽快でした。

身なりもスポーツ選手らしく、小さっぽりとしていて好感が持てました。最近は街中の若者が妙な格好をしているのが目立つだけに、清潔感のある身だしなみにはかえって新鮮な印象を受けました。選手の家庭や指導する方々、プレーヤー本人のゴルフに対する高い意識、そういう良質な背景まで垣間見えました。

私はトップグループに付いて1番から18番まで観戦したので、しかも3人とも若い人だったので、特に印象深かったのかもしれません、これからゴルフ界をこういう人たちが担うのかと思うと明るい気分になり、女子ゴルフも大いに見習いたい



18番ホールを終わって…。左から伊藤、関沢、額賀の各選手

と思いました。というのも、女子の競技選手の中には、おへソの出るようなウェアを着たり、あまり好感の持てないリゾート風の身なりをしている人がいて、首を傾げたくなることがたまにあるからです。男子より女子のほうが流行に敏感なせいもあるのでしょうか、考えさせられました。

それにしても「関東のナンバーワン」を決める選手権大会なのに、ギャラリーが少ないのが寂しかった。平日開催のせいでどうけども、この伝統ある試合をなるべくたくさん的人に見てもらつて、質の高いゴルフを目指す人が増えるのに一役も二役も買ってもらいたいと思いました。

私にとって初めての『関東アマ』観戦でしたが、いろいろな面でいい勉強をさせてもらった、収穫の多い観戦でした。選手の皆さん、ありがとうございました。

状況に応じた感性がぼくなりに働くのでそれに委せていますから、コツはあってないようなものです」

—5打差が1打差になった時はあせらなかった？ 「安全にいこうとして曲げたところはありますけど、スコア的に乱れはしなかったのであせりはありませんでした。伊藤君がバーディ、バーディのいいゴルフをしていたので、これ

で負けたんなら彼のほうがうまいんだと思つていきました。彼は高校（鹿島学園）の後輩だしつ……」

—ゴルフ歴は？

「自宅の近くに練習場があって、中学2年で始めました。中学の頃は30ヤード以内のアプローチばかり練習していました。部活でサッカーモもやっていたので、ゴルフと2本立てでした

平成16年度 関東アマチュアゴルフ選手権決勝競技

●開催日 平成16年6月7日(月)～10日(木) ●開催コース 相模原ゴルフクラブ・東コース 6,960ヤード パー72

エントリー数159名／出場者数157名／欠場者2名

順位	選手名	所属	第1ラウンド	第2ラウンド	第3ラウンド	第4ラウンド	合計
1	額賀 深徳	ロイヤルスター	71	73	69	72	285
2	伊藤 勇氣	関東ジュニア	74	71	69	74	288
3	中島 徹	昇仙峡	73	73	74	73	293
4	竹石 佑佑	筑波	77	73	72	74	296
4	芳賀 洋平	関東アマ	75	73	73	75	296
6	奥山 裕士	新千葉	77	72	77	71	297
6	杉山 稔	絶武	75	75	72	75	297
8	柴庭 利明	駒澤 大	78	76	72	72	298
8	宇佐美祐樹	関東ジュニア	78	70	75	75	298
8	角田 充弘	東名	73	73	74	78	298
8	関沢 誠	ツインレイクス	78	71	71	78	298
12	宮本 清	小川	74	75	75	75	299
12	鏡 英樹	富士笠間	77	71	78	73	299
12	渡邊 優登	ロイヤルスター	77	75	74	73	299
12	橋爪 光彦	日本大	77	73	74	75	299
12	石井 保行	清川	75	72	73	79	299
17	沢田 信弘	東京五日市	76	74	77	73	300
17	和田 博	東京五日市	77	77	71	75	300
17	水上 晃男	鶴舞	75	74	76	75	300
17	亀井 陸	唐沢	76	72	75	77	300
17	室野 歩	東千葉	75	76	72	77	300
22	安木 隆介	専修大	76	72	77	76	301
22	加藤 大幸	中央学院大	74	76	75	76	301
22	熊谷 淳	水戸グリーン	75	76	71	79	301
25	斎藤 恭正	アカデミーハイツ	79	74	75	74	302
25	中川 潤	戸塚	73	77	77	75	302
25	亀井 美博	ノースショア	75	75	76	76	302
25	岡田 広祐	草野・佐野	78	75	78	71	302
25	金子 浩延	都	78	77	72	75	302
25	木下 裕太	関東ジュニア	74	77	74	77	302
25	宮 春夫	習志野	77	73	74	78	302
32	勝又 崇之	専修大	81	73	75	74	303
【以上日本アマチュアゴルフ選手権競技出場有資格者】							
32	豊島 雄	東千葉	76	77	75	75	303

予選競技マダリスト選手

第1ブロック	佐久間 駿（東名）	70ストローク
	中島 徹（昇仙峡）	70ストローク
第2ブロック	佐藤 和夫（オリムピック）	70ストローク
第3ブロック	小林伸太郎（高崎KG）	73ストローク
第4ブロック	篠塚 直彦（ノースショア）	67ストローク
第5ブロック	額賀 深徳（ロイヤルスター）	70ストローク
第6ブロック	東家 寛政（水戸グリーン）	73ストローク
第7ブロック	額賀 義朗（船橋）	73ストローク
	小原 淳（葉園）	74ストローク

順位	選手名	所属	第1ラウンド	第2ラウンド	第3ラウンド	第4ラウンド	合計
34	中島 正春	韮月・佐野	75	75	79	75	304
34	吉田 文雄	東松山	77	76	71	80	304
34	額賀 義朗	船橋	80	75	73	76	304
34	河瀬 徳三郎	相模原	74	77	76	77	304
34	小川 透	岡部チサン	76	77	73	78	304
34	岩波 優	バ協	76	76	74	78	304
40	小林伸太郎	高崎KG	78	76	78	73	305
40	吹野 稔一	郡 賀	75	78	77	75	305
40	笠浦 元気	オリムピック	76	76	73	80	305
40	篠塚 直彦	ノースショア	79	75	71	80	305
40	山本 泰弘	鳥山城	74	79	72	80	305
45	岡田 韶麻	関東ジュニア	75	78	80	73	306
45	千葉周仁	京	76	78	74	78	306
45	桜井 延秋	新千葉	77	76	77	76	306
45	高安 行信	セントラル	76	73	76	81	306
49	志村 駿夫	日立	73	80	79	75	307
49	佐藤 和夫	オリムピック	79	76	74	78	307
51	齊藤 良	バ協	74	78	75	81	308
52	市川 賢	東京国際	81	74	76	78	309
52	小原 淳	愛護	72	78	80	79	309
54	浅川 康辰	武藏	77	77	78	78	310
55	石原 紀一	京	75	78	80	78	311
55	佐久間 駿	東名	77	77	80	77	311
55	板垣 道也	伊香保温園	79	75	79	78	311
55	日暮 俊明	扶桑	79	76	75	81	311
55	青木 龍一	関東ジュニア	75	78	77	81	311
55	大和田康夫	草津	78	73	77	83	311
61	平野 洋一	大厚木	75	77	79	81	312
61	小林 一三	リバー富士	75	80	74	83	312
63	光山 富夫	横浜	76	78	79	80	313
64	富田 久三	東京国際	78	76	79	81	314
65	竹原 洋行	東名	76	77	78	85	316
66	菅谷 昭雄	鹿島スプリングス	76	78	81	85	320

特別表彰

決勝競技	(30回出場表彰) 阪田 哲男（袖ヶ浦）
(20回出場表彰)	沢田 信弘（東京五日市）
宮 春夫（習志野）	

(10回出場表彰) 市川 賢（東京国際）

けど今はゴルフ1本です。毎日、200球ぐらい打っていますが、試合に合せて球数を増やしています」

—ドライバーショットはどのくらい飛ぶ？

「平均すると285ヤードぐらいです」

—アイアンも飛ぶね。18番の林越えのショットは何番で打ったの。

「8番アイアンです。8番で180ヤードぐらい出ます」

—それにもしても、今日はいいゴルフを観せてもらって、ありがとう。今後を楽しみにしてるよ。

「ハイ、ガンバります。ありがとうございます」

強風雨の中で見せた 総武カントリークラブの逆転劇

—よきライバルに胸を借りた総武カントリークラブと話題の異色チーム—

文・森口静彦、山田和臣、塙田 正（KGA広報委員）

写真・伊室一義（KGA広報副委員長）、片山晴美、舟橋一芳、塙越克一、増田 收（KGA広報委員）

■ 総武カントリークラブ 逆転で優勝

関東倶楽部対抗が始って70年目の本大会は、大型の台風6号の影響下で、雨が断続的に降ったり止んだり、時にはかなりの突風にギャラリープラザのパラソルや椅子が倒される有様であった。

決勝は予選参加338倶楽部2,028選手の中から、14予選会場で勝ち残った48倶楽部と開催コースの霞ヶ関カントリー倶楽部の計49倶楽部294名のつわものたちによって

争われた。予選会の成績で6名の合計スコアが450ストロークを切ったのは前年度優勝の東千葉440と水戸447の2倶楽部のみ。当然、この2倶楽部に注目が集まつた。

Aクラスは西コース、Bクラスは東コースから、それぞれ1番と10番に分かれて7時30分に一斉にスタートした。

フロントナインを終えた段階で、前年度の覇者東千葉が6選手合計230ストローク、14オーバーでトップに立つた。予想通りの戦いぶりだ。2位タイは15オーバーの総武、



初優勝に喜ぶ総武チームの選手と関係者たち

水戸、GMG八王子の3倶楽部。5位は16オーバーの袖ヶ浦が占めた。2打差の中に5チームがひしめき、かつ空模様の不安定もあって、優勝の行方は全く予想できない状態となつた。

後半戦は、好調にパーを重ねていた東千葉・山田選手が13番（516ヤードのパー5）で予想もしないまさかのダブルスクアを叩いた。これで東千葉の連覇の夢は一歩遠くなつた。一方、総武は快進撃を続け、フロントナインを上回る合計229ストローク、13オーバーをマークし、通算28オーバーで逆転優勝を掴んだ。準優勝は32オーバーの水戸、3位は38オーバーの袖ヶ浦が続いた。

■ 練習試合でつけた試合度胸

総武カントリークラブは決勝初出場の昭和45年大会で6位入賞して以来、2位2回、昨年は3位入賞と輝かしい実績を残している強豪チーム。昭和45年大会に選手として出場した白井保彦競技・ルール委員長が、監督として、今回初めて優勝楯を倶楽部に持ち帰った。白井監督は「昨年3位となつて



Aクラス・メダリスト
71ストローク
中川利貞選手（総武）



Bクラス・メダリスト
71ストローク
豊島 雄選手（東千葉）



Bクラス・メダリスト
71ストローク
杉田 伸選手（GMG八王子）

悔しい思いをした。東千葉、袖ヶ浦等強豪の胸を借りるつもりで、何回か練習試合を行なつて試合度胸をつけてきた。また、白井敏夫キャプテンを中心に研修会から選抜した選手が各自練習に励み、その成果がチームワークとなって実を結んだ」と語る。

よきライバルを持つことが技術向上のインセンティブ（刺激）となり、また他倶楽部との親善・友好の輪を広げる結果となる。

本大会発足の精神は「各倶楽部員の社交・懇親」である。関東カップ（関東倶楽部対抗競技の前身）創設に際して、霞ヶ関の創始者の一人であり同東コース設計者の一人でもあった藤田鉄哉氏は「インター・クラブ・マッチはゴルフの技を磨くには大変良い催しだる。（中略）しかし、この対抗試合がソシアル・ゲームを外れて勝負中心になり、勝たんが為に爪を磨くようになつてはいけない。（中略）勿論、ゲームには全力を尽し、立派な試合をすべきではあるが、フェアプレー、グッド・スピリットを失わないように、人選も自然そうした立場からすべきだと考える」と述べている（日黒書店雑誌「ゴルフ」昭和9年3月号）。

この発言には、70年後の今日にも通ずるゴルフの精神と本大会の原点がある。「温故知新」、改めて吟味すべき言葉だ。

■ 東京ゴルフ倶楽部22年ぶりの出場

東京ゴルフ倶楽部が22年ぶりに関東倶楽部対抗の決勝競技に進出した。22年ぶりというのも凄いが、埼玉県は、「全県1区」で31チームが予選に出場するという最激戦地でもある。武藏、嵐山、高坂、岡部チサンなどの強豪が目白押しだが、こうした中で堂々第1位で予選を突破したのだから、今年の倶楽部対抗で最も話題が集中したのも無理からぬところだ。



山村 亘キャプテン（東京）

では、なぜ昨年は出場28チーム中、22位という成績が示すように、例年苦戦しているチームが、予選第1位という急成長を遂げたのか。

関東倶楽部対抗メモ
関東倶楽部対抗の歴史は、今からちょうど70年前の昭和9年にさかのぼる。まだ関東ゴルフ連盟（KGA）が誕生する以前、昭和8年11月、KGA誕生の母体となった日本ゴルファーズ倶楽部に各倶楽部の代表者が集まって、昭和9年から関東地方の八倶楽部間のフレンドリー・マッチを開催することとしたのが発端。当時、関東カップと呼ばれていた。本大会の歴史はKGAの歴史よりも古く、あのマスターズと誕生年が同じという伝統の大会である。第二次大戦の戦中・戦後の混乱のため昭和16年～28年にかけて中止、この空白期13年のため開催回数としては、今回が第58回大会となる。

その点を山村亘キャプテンに分析してもらうと、「うーん。選手が頑張ってくれたという一語に尽きますが、具体的にいえば昨年研修会を発足させ、選手の技術の向上を図ったのがよかったんでしょうか？」

と、今年から月1回、選手候補を集めて研修会を行ってきたのが実を結んだと強調する。

決勝競技の応援に駆けつけていた岩崎武雄プロも「予選では、一番悪い人が81で、あとはみんな70台でしたから」と勝っても不思議ではないという顔付で語る。

さらに選手候補として、一緒に研修会でプレーしてきた相馬和胤氏（東京ゴルフ倶楽部グリーン委員長）は、「今年のチームはまとまっていますね。团结心がいつもと違って強く、AとBクラスがよく噛み合っているのが特徴です」と、強さの一面をこんなふうに説明する。

「やはり研修会を作つて、みんな月に1度は顔を合わせてやってきたのが、よい意味のチームワークに結びついたのではないでしょか。有力な要因ですね」

と、山村キャプテンは研修会が単に技術向上ばかりではなく、チームワークにも大きなプラスになったことを力説する。たしかに関東倶楽部対抗のように、A・Bクラス6人全員のスコアが採用される厳しい対抗方式では、チームワークが、目に見えないスコアメイクの要因であることに、異論をさしはさむ余地はない。



俱楽部対抗はチームメイトも緊張の連続。練習グリーンでは選手に付き添ってチェックし（写真左）、ティショットのときは選手のプレッシャーを気遣う（写真中）。そしてスコア提出のときは数字のチェックも忘れない（写真右）。

で、決勝競技当日の選手の奮闘ぶりはどうだったのか。

「今日はね、敵はコースでも台風でもないんですよ。親善対抗マッチで、ここしばらく負けてばかりいる霞ヶ関チームが最大の敵なんです。霞ヶ関チームだけには絶対に負けたくない」

代表選手がスタートしていったあと、同僚の応援にやってきた候補選手のある一人が、冗談まじりにこんな話をしてくれた。霞ヶ関カンツリー倶楽部は、決勝競技のホストコースになるので、予選には出場していない。この日、同じ埼玉県勢として出場したわけだが、決勝という桧舞台で、宿敵を叩きのめして祝杯を挙げようというハラだつたのである。

ところが霞ヶ関チームは全体の12位と大健闘したが、一方の東京チームは32位で霞ヶ関チームに大きく水をあけられてしまった。

「まあ、いいですよ。霞ヶ間に差をつけられてしまったが、決勝競技に出たということで、選手たちも大きな自信をもったはずですから」

と山村キャプテンは、この自信を来年にもつなげていく構えだ。

予選初出場で決勝へ進出

今年の参加チーム中、異色の倶楽部といえば、だれでも迷わず石坂ゴルフ倶楽部を指名するに違いない。何しろ関東倶楽部対抗予選競技に初めて参加して、その予選を突破して決勝競技にまで進出してしまったのだから驚きである。しかも、“激戦区”的埼玉県を勝ち抜いたのだからなおさらで

ある。

そして決勝当日は、クラブハウスに5時30分に全員集合して、バスでやってきた。会場の霞ヶ関カンツリー倶楽部と石坂ゴルフ倶楽部では、車で30分も走れば届く目と鼻の距離。短い距離ではあるがなぜバスを仕立ててやってきたのか。

「運刻しないようにですよ。何しろ初めての決勝競技への参加ですからね。それとチームワークをはかるために自分の倶楽部に集合し、出場選手の顔を確認して、それでやってくるんです。予選競技でも同じでした」

とは山村豊樹業務部長の言葉。この言葉からも初々しい初出場の“顔”を覗き見ることができる。

石坂ゴルフ倶楽部は、一昨年中間法人の組織に変わった。逆境の中で予選出場を決めるのは、さぞかし大変なことだろうと想像したが、

「いや、かえって母体が変わったことで出場できたといえるかもしれませんよ。以前、親会社の意向で出場に踏み切れなかったという一面がありましたからね。こんどは新生理事会を中心に昨年末に決定をみて、すぐに出場の申込みをしたくらい



予選に初出場、決勝進出を決めた石坂チーム

です」

と、予想に反して、新体制が出場を早めたというのである。

そして選手選考に移るのだが、研修会は作らず、選考の対象としたのは、倶楽部選手権、理事長杯、シニア選手権、そして月例杯などから選手を選んだ。

さらに、「ゴルフがうまいというだけではなく、チームワークを乱さず、他人を思いやる心の豊かな人」を、選手選考の基準の中に入れた。

すっきりした、和のチームができ上がった。

この“和”が激戦の埼玉で好成績を挙げ、予選初参加ながら関東倶楽部対抗決勝競技に駒を進め原動力となったのはいうまでもない。

結局、霞ヶ関カンツリー倶楽部での決勝競技では、38位という成績に終わったが、順位はともかく、初参加で予選を勝ち抜いたという自信は、これから石坂チームにはもちろん、新生石坂ゴルフ倶楽部の会員の皆さんにも大きな刺激となつたに違いない。

27年ぶり、宿願の決勝進出

茨城第1地区で第1位の金的を射止めた桜ゴルフ倶楽部は、関東倶楽部対抗に初めて参戦してから27年目にして初めての決勝競技に出場を決めた。そしてこの出場に倶楽部が沸いた。「決勝競技への出場を機に倶楽部の掲示板に多色刷りの出場記念ポスターを作つて貼つたんです。ぼくの会社の宣伝部に作らせましてね。そうしたら第1位おめでとうと大変だったんです。桜にもこんな温いアットホームな空気があったんだと改めて思いましたね」

と語るのはチーム・キャプテンの富澤勲氏である。時はまさに情報化時代、記念ポスターで会員に報告したことで、この27年ぶりに訪れた嬉しい出来事を多くの会員と共有することとなった。

それまでの研修会には、必ずしも温い眼差しが向けられてはいなかつたが「茨城第1地区的優勝」ということで、「ええっ、凄いな」という驚きに変わつた。第1位という実績で、空気がガラッと変わつたのだ。

さらにこの快挙の背景には、富澤キャプテンの

平成16年度 関東倶楽部対抗決勝競技



決勝競技に27年ぶりに出場し、10位と大健闘した桜チーム

厳しい選手の起用法があったのも見逃せない。選手選抜は研修会、倶楽部選手権、月例杯など公式競技のベストスコア10枚を基準にしてA・B各6名ずつ、計12名を選出、最終的には直前に「桜」を2ラウンド、会場になるコースを1ラウンドして、ベスト3名ずつを選んだ。そして4番目のスコアをマークしたプレーヤーは控え選手とした。

そしてこのスコア管理は厳正をきわめ、たとえ昨年代表選手として好スコアをマークした人でも、この選択のルートに乗れなかったら4名の枠に入れることはできない。

それともう一つの厳しい選考基準は、チームワークを乱さずプレーヤーに対するものである。富澤キャプテンは、

「トラブルを起こす選手は、いくら技術があっても選手になれない」

と“和”を乱す人には、選手の座から退いてもらつようにしてきた。

茨城第1地区で優勝という実績と、厳しい選手選考の結果、いまでは研修会に対する評価も違つてきている。「研修会はよくやっている」という声のほうが大きくなっているというのである。

「倶楽部対抗のよさは、倶楽部の会員と選手が一体となり、クラブ・ライフの質を高めるとともに他県の人たちとも親善を深めることに大きな意義があります」

と、富澤キャプテンは、最後にこう締めくくり、今年のこの大きな収穫をさらに来年も積み上げ、桜ゴルフ倶楽部の大きな“財産”にしていきたいと語った。

そして桜チームは、決勝競技でも10位と大健闘だった。

平成16年度 関東倶楽部対抗予選競技成績表

地域別 順位	新潟 フォレスト		長野 穂高		山梨 春日居		群馬 ツインレイクス		栃木第1 那須小川		栃木第2 杉ノ郷		茨城第1 高萩				
	5月28日(金)	5月25日(火)	5月25日(火)	5月25日(火)	5月27日(木)	5月27日(木)	5月27日(木)	5月27日(木)	5月25日(火)	5月25日(火)	5月26日(水)	5月26日(水)	5月26日(水)	5月26日(水)	5月26日(水)		
優勝	フォレスト	466	長野	464	甲府国際	464	草津	477	宇都宮	476	都賀	470	桜	468			
2位	十日町	481	穂高	466	昇仙峡	478	ツインレイクス	479	那須小川	476	芳賀	478	茨城バシフィック	476			
3位	紫雲	483	塩嶺	472	甲斐駒	479	赤城国際	485	サンレイク	479	唐沢	483	筑波学園	476			
4位	日本海	484	諏訪湖	482	春日居	480	伊香保国際	486	ゴルデンレイクス	479	塙原	483	扶桑	478			
5位	新発田城	488	グランステージ	482	グリーンハイ	480	太田双葉	488	紫塙	481	鬼怒川	483	セベ・パレス	479			
6位	長岡	489	松本	483	オリムピック	483	上武	490	佐野	483	ファイブエイト	485	セントラル	479			
7位	下田城	491	豊科	485	ダイワインテージ	490	甘樂	492	板木ヶ丘	485	チサン黒羽	487	霞台	489			
8位	越後	494	三井の森藤科	487	マイブルボイント	492	藤岡	492	日光	486	パークリイ	489	ザ・レイクス	493			
9位	笛神五頭	494	長野国際	488	中央都留	495	群馬	493	阜月・鹿沼	487	矢板	495	筑波	494			
10位	新潟	495	松本浅間	489	秋山	495	関越ハイランド	494	足利	487	南摩城	496	玉造	495			
11位	石地シーサイド	496	南長野	492	都留	502	伊香保	499	下野	493	皆川城	496	栗橋国際	496			
12位	中条	496	川中島	493	甲斐芙蓉	519	ベルエア	503	広陵	498	杉ノ郷	499	土浦	497			
13位	ルーセント	497	諏訪レイクヒル	494	都※	523	ロイヤルオーク	503	板の木	506	千成	500	龍ヶ崎	497			
14位	妙高	499	あづみ野	495	河口湖	535	グリーンパーク	504	阜月・佐野	507	ロイヤル	510	水戸グリーン	498			
15位	米山水源	500	サニ一	498	沼田スプリングス	506	鳥山城	507	レイクランド	511	高萩	500					
16位	糸魚川	501	中央道晴ヶ峰	501	プリンスランド	507	サンヒルズ	507	板木	512	取手国際	508					
17位	松ヶ峯	502	菅平高原	501	プレス	510	あさひヶ丘	508	ライインヒル	512	フレンドシップ	509					
18位	妙高サンシャイン	502	佐久平	502	高崎KG	511	関東国際	510	鳳月	513	金沙郷	511					
19位	新潟sp・三条	502	千曲高原	503	鳳凰	511	東ノ宮	512	大平台	515	宍戸ヒルズ	512					
20位	ヨネックス	505	望月	504	妙義スプリングス	513	東松苑	512	鷹	519	久慈川	514					
21位	新潟sp・出雲崎	505	信濃	513	下仁田	515	新宇都宮	513	東宇都宮	521	ザ・ウイングス	517					
22位	ミサワカーディナル	505	ヴィラ蓼科	525	下秋間	517	思い川東急	518	鶴	528	潮来	533					
23位	イーストヒル	506	八ヶ岳高原	528	初穂	518	藤和那須	520	ユーハイ	528							
24位	小千谷	506	望月東急	528	白水	532	那須	522	那須チサン	534							
25位	アイビス	509			桐生	543	鹿沼	欠場	アローエース	544							
26位	湯田上	510			永野	550											
27位	湯沢	515															
28位	阿賀高原	520															
29位	新津	521															
30位	柏崎	522															
31位	中峰	535															
32位	津川	544															
Aクラスメダリスト	今井隆 (紫雲)	武田俊二 (塩嶺)	岩波肇 (甲府国際)	佐藤和男 (秋山)	大和田康夫 (草津)	阿部幸信 (日光)	磯信廣 (清木治雄)	磯信廣 (足利)	大輪広明 (水戸グリーン)								
	73	73	72	75	73	75	75	74									
MBダクラスマダリスト	佐藤秀明 (越後)	菊地衛 (穂高)	名取和光 (ダイワインテージ)	関沢誠 (ツインレイクス)	中島正春 (阜月・佐野)	金浩延 (都賀)	竹石要佑 (筑波)										
	74	71	73	71	74	74	69	71									

(注)※は初参加倶楽部

茨城第2 那珂 5月25日(火)	埼玉 入間 5月24日(月)		千葉第1 東千葉 5月24日(月)		千葉第2 本千葉 5月24日(月)		東京 八王子 5月24日(月)		神奈川 相模野 5月25日(火)		静岡 伊東CC 5月26日(水)					
	水戸	447	東京	467	東千葉	440	新千葉	461	GMG八王子	466	相模原	458	リバーエフ富士	464		
富士・笠間	461	埼玉国際	474	中山	453	真名	467	東京五日市	469	東名厚木	467	富士チサン	466			
スプリングフィールズ	465	鴻巣	475	総武	461	南総	469	府中	470	大厚木	468	大熱海国際	467			
大利根	472	石坂	475	袖ヶ浦	463	ザ・鹿野山	477	青梅	484	清川	469	東名	473			
江戸崎	475	高坂	477	習志野	465	千葉	480	八王子	485	横浜	470	富士宮	475			
茨城	479	武藏	480	南千葉	466	富里	480	東京よみうり	491	伊勢原	476	沼津	479			
ニッソ一	480	川越	481	館山	466	鶴舞	481	立川国際	492	レインボーワーク	479	富士箱根	481			
常陽	480	廣済堂埼玉	482	千葉国際	467	船橋	483	武蔵野	492	戸塚	480	富士御殿場	487			
浅見	481	嵐山	483	レンボーリズ	468	千葉新日本	483	東京国際	497	相模湖	481	富士小山	494			
日立	482	鳩山	485	千葉スプリングス	474	本千葉	485	木更津	502	相模野	481	函南	494			
那珂	483	岡部チサン	486	姉ヶ崎	475	ロイヤルスター	488	桜ヶ丘	502	大相模	483	豊岡国際	496			
麻生	487	小川	488	成田CC	479	長太郎	489	小金井	504	小田原・松田	483	富士士	497			
大洗	489	ノーザン錦ヶ原	488	藤ヶ谷	480	かずさ	490	相武	509	小田原湯本	483	御殿場	498			
新水戸	489	飯能	489	成田スプリングス	481	木更津	492	赤羽	545	津久井湖	484	伊豆スカイライン	501			
茨城ロイヤル	494	浦和	489	鷺之台	485	ブリックアドワード	493	葉山国際	486	三島スプリングス	504					
白帆	502	日高	489	勝浦	485	佐原スプリングス	494	東京CC	486	伊東CC	505					
霞ヶ浦出島	503	飯能グリーン	492	房総	486	我孫子	498	大秦野	489	天城につかつ	505					
桂ヶ丘	506	熊谷	492	長南	486	千葉廣済堂	500	平野	492	南富士	512					
サニーフィールド	506	東松山	493	京葉	488	東京スプリングス	502	秦野	492	南富士	512					
ダイヤグリーン	507	入間	495	小御門	490	紫	503	美濃	503	芙蓉	515					
ノースショア	512	寄居	496	カレドニア	492	原	503	磯子	496	磯子	525					
セゴビア	513	埼玉	496	大利根チサン	494	鴨川	504	相模	497	中津川	504					
		美里	498	万木城	495	白鳳	506	箱根	506	湯河原	532					
		狭山	498	上総富士	495	八幡	509									
		高根	498	加茂	498	茂	509									
		武蔵松山	499	エンゼル	501	一の宮	512									
		秩父国際	507	平川	501	トヨコ	524									
		高麗	511	成田GC	501	源氏山	528									
		越生	513	房州	511											
		大宮国際	515													
		高麗川	523													
寺澤良雄 (水戸)	小川透 (岡部チサン)	工藤利明 (埼玉国際)	石井幹 (千葉スプリングス)	石田立美 (千葉国際)	小冷正弘 (藤ヶ谷)	三枝節 (藤ヶ谷)	74	眞崎敏寛 (南総)	安藤謙治 (八王子)	佐々木徹 (相模野)	小林祺一郎 (富士チサン)					
	71	72	71	68	74	74	74	72	76	72	71					
館英樹 (富士・笠間) 寺沼幸雄 (水戸)	宮本清 (小川)	室野歩 (東千葉)	斎藤元志郎 (真名)	原田武秀 (府中)	堀越榮治郎 (相模原)	宮本博幸 (大熱海国際)	71	眞崎敏寛 (南総)	安藤謙治 (八王子)	佐々木徹 (相模野)	小林祺一郎 (富士チサン)					
74	71	71	68	72	71	71	71	72	76	72	71					

平成16年度 関東倶楽部対抗決勝競技成績表

●開催日6月21日(月) 開催コース 露ヶ関カンツリー倶楽部
Aクラス 西コース 6,852ヤード パー73
Bクラス 東コース 6,862ヤード パー72

1位 総武カントリークラブ スコア合計460

	氏名	合計	アウト	イン
Aクラス	白井 敏夫	77	40	37
	中川 利貞	71	35	36
	渡辺 秀男	80	39	41
Bクラス	杉山 徳穂	76	40	36
	浮ヶ谷 信夫	72	36	36
	高橋 一君博	84	42	42

(チーム平均ストローク=76.67)

2位 水戸ゴルフクラブ スコア合計465

	氏名	合計	アウト	イン
Aクラス	中村 清	80	40	40
	平澤 雄進	77	38	39
	小野 伸	75	39	36
Bクラス	河入 茂文	80	37	43
	野原 康昭	76	40	36
	寺沼 幸	77	37	40

(チーム平均ストローク=77.50)

3位 船ヶ谷カントリークラブ スコア合計471

	氏名	合計	アウト	イン
Aクラス	仲松 美姫	79	37	42
	林安 雄	80	40	40
	坂田 英	78	36	42
Bクラス	原田 規	79	37	42
	柳澤 信吾	75	37	38
	柳澤 信吾	80	41	39

(チーム平均ストローク=78.50)

4位 東千葉カントリー倶楽部 スコア合計472

	氏名	合計	アウト	イン
Aクラス	山田 勤	85	39	46
	延田 政弘	83	39	44
	金子 航	83	42	41
Bクラス	豊島 好文	71	35	36
	三重 伸	77	39	38
	野野 伸	73	36	37

(チーム平均ストローク=78.67)

5位 GMG八王子ゴルフ場 スコア合計472

	氏名	合計	アウト	イン
Aクラス	石黒 豊	81	42	39
	蒲浦 勝	80	39	41
	佐藤 正信	82	40	42
Bクラス	神田 明義	78	41	37
	森田 駿	80	37	43
	杉田 功	71	36	36

(チーム平均ストローク=78.67)

6位 長野カントリークラブ スコア合計473

	氏名	合計	アウト	イン
Aクラス	宮澤 亮三	78	37	41
	吉沢 富男	79	41	38
	黒岩 譲	76	38	38
Bクラス	伊藤 雅章	80	39	41
	山本 秋夫	79	40	39
	萩原 浩二	79	40	39

(チーム平均ストローク=78.63)

7位 スポーツ振興大木厚カントリー倶楽部 スコア合計474

	氏名	合計	アウト	イン
Aクラス	上村 孝一郎	79	38	41
	平野 洋一	79	38	41
	上井 伸	82	37	45
Bクラス	山本 秋夫	79	40	39
	秋山 光司	76	39	37
	萩原 浩二	79	40	39

(チーム平均ストローク=79.00)

8位 東京五市カントリー倶楽部 スコア合計476

	氏名	合計	アウト	イン
Aクラス	久田 美男	84	41	43
	吉田 幹夫	81	41	40
	小林 正義	81	40	41
Bクラス	澤田 弘	76	35	41
	和田 信雅	76	38	38
	和田 博	78	36	42

(チーム平均ストローク=79.33)

9位 中山カントリークラブ スコア合計476

	氏名	合計	アウト	イン
Aクラス	出井 久之	82	42	40
	大久保 錦	80	39	41
	坂井 道弘	83	40	43
Bクラス	千葉 英樹	76	36	40
	山岸 正八	79	43	36
	上代 修	76	40	36

(チーム平均ストローク=79.33)

	氏名	合計	アウト	イン
Aクラス	寺内 真平	87	39	48
	一ノ瀬 和秋	81	39	42
	成田 勉	83	41	42
Bクラス	山崎 康一	73	35	38
	金与 延	75	40	35
	松谷 晃	81	40	41
	谷沢 淳	86	41	45

(チーム平均ストローク=80.00)

	氏名	合計	アウト	イン
Aクラス	若田 直樹	76	39	37
	大山 四郎	81	42	39
	桜井 駿	79	39	40
Bクラス	今井 順	77	39	38
	関井 宏	84	42	42
	須長 順一	77	37	40
	鈴木 誠	76	38	38

(チーム平均ストローク=80.83)

	氏名	合計	アウト	イン
Aクラス	福原 政文	81	40	41
	小林 良一	84	42	42
	桜井 駿	87	41	42
Bクラス	今井 駿	76	36	40
	関井 宏	77	37	40
	須長 順一	77	37	40
	鈴木 誠	76	38	38

(チーム平均ストローク=80.83)

	氏名	合計	アウト	イン
Aクラス	土屋 真一	81	40	41
	山崎 勝	82	41	41
	大庭 伸	83	42	41
Bクラス	渡辺 博	80	40	40
	本橋 木	81	41	42
	若林 晴美	78	38	40
	佐藤 駿	76	36	40

(チーム平均ストローク=80.83)

	氏名	合計	アウト	イン
Aクラス	大和田 康一	82	43	44
	中川 実	82	41	41
	小原 久仁	83	42	44
Bクラス	清水 克海	79	41	38
	伊藤 啓	78	38	40
	鈴木 哲	78	40	38
	横田 哲	76	40	38

(チーム平均ストローク=81.50)

	氏名	合計	アウト	イン
Aクラス	大庭 勝	77	38	41
	中野 茂	82	41	41
	小原 伸	83	42	41
Bクラス	大庭 勝	77	38	41
	中野 茂	80	40	40
	小原 伸	78	39	40

(チーム平均ストローク=81.50)

	氏名	合計	アウト	イン
Aクラス	大庭 勝	77	38	41
	中野 茂	82	41	41
	小原 伸	83	42	41
Bクラス	大庭 勝	77	38	41
	中野 茂	80	40	40
	小原 伸	78	39	40

(チーム平均ストローク=81.50)

	氏名	合計	アウト	イン
Aクラス	伊藤 仁	79	40	38
	今井 幸平	82	42	40
	井上 勉	81	41	40
Bクラス	日比生 泰	76	39	37
	河本 徳三郎	81	42	39
	三枝 由夫	82	41	39
	大庭 誠	77	40	37

(チーム平均ストローク=81.67)

	氏名	合計	アウト	イン
Aクラス	長澤 周	79	38	41
	吉田 美義	80	40	39
	森田 駿	81	41	40
Bクラス	渡辺 勇	76	37	41
	西川 実</			

また一方、逆に考えてみれば、鈴木選手が戦う前に恐れていた東京ゴルフ倶楽部のグリーンとグリーンまわりの難かしさを完全に征服できなかつたという課題にもつながる。そして今後の対策として、「昨年、我孫子ゴルフ倶楽部で優勝した富田一幸さん（ザ・鹿野山）が、挨拶の中で『週に2000発ボールを打ち、1日10km歩く』というお話をしていましたが、僕もこれにはびっくり。まあ富田さんはハードスケジュールではやませんが、僕なりに去年から自転車こぎ、スクワットなどを始めました。これからゴルフは飛ばなければいけませんし、またショート・アイアンでグリーンをはずすのも老化からくる気力の衰えがあるのじゃないかということで始めたんです」と我孫子ゴルフ倶楽部といい東京ゴルフ倶楽部といい、2年続けて勝てなかつた思いを体力増強のトレーニングにぶつけ、来年に望みをかけている。

魔物が凄む東京ゴルフ倶楽部

同じく2位にランクされた傍島輝雄選手（千葉）は、多くの選手同様、東京ゴルフ倶楽部のバンカーに泣かされた一人だ。傍島選手はインから出て、16番まできれいにパー奪取を続けた。ところが17番ホール（136m=パー3）のティーショットが、運悪くグリーン手前をガードするバンカーの斜面に突き刺ってしまった。結局、このホールでダブルボギーの5を叩き、結局、これが命取りとなって、1ストロークの差で優勝を逃がしてしまった。1988年の日本オープンのときも「東京ゴルフ倶楽部には魔物がいる」とプロ選手から恐れられたが、傍島選手にとっての最大の魔物は17番のバンカーだったわけである。

土居喬選手（藤ヶ谷）は、シニア、ミッドシニア、グランドシニアを通じて、常に上位を狙う実力者だ。2001年の日本グランドシニア選手権（広島・西条）では、堂々2位に入賞している。

この土居選手は東京ゴルフ倶楽部を攻めるポイントとしてつぎのような、戦術を標的にスタートした。

「練習日にプレーして、実際の距離よりも10m引いてグリーンを狙う作戦をとることにしたんです。



ピンの奥へは絶対に打たない心に決めたわけです。
それともう一つは、グリーンが速いので、できるだけ高いボールで攻めること
にしたのですが、これもスコアメイクには大きなプラスになりました」

この戦術が実を結んで、なんとこの日の土居選手がマークアップしたパーオンの数は11ホールにもおよんだ。土居選手は今年も4位入賞を果たしたが、彼が見せた計算づくの守勢型スコアメイクが東京ゴルフ倶楽部には合っていたのはいうまでもない。

だが、70歳を越えても、まだ若い者には負けてはいられない——と気を吐く強腕の選手もいる。

山岸幸勇選手（鷹之台）がその人だ。高校では、野球選手として鳴らしたが、飛ばしの距離は参加122名中、3本の指に入るほどロングヒッターである。その証拠に、この選手権でも、15番ホール（476m=パー5）で第2打をエッジまで運び、イーグルをマークしている。

「僕は東京は神田の生まれのせいか、あまりこせこせたことは性に合わないんだよね。ドカーンと一発打って、つぎにピンそばにびたりというゴルフをやりたいんだ」

と山岸選手はいうが、この山岸選手も右目の網膜剥離を患い、今回はショートアイアンの調子が悪く、50位タイと振わなかつたが、山岸選手のような“切れのよいゴルフ”も、グランドシニアにとっては一服の清涼剤だ。若い女性ギャラリーが「いまの70歳ってみんな若いわね」と18番グリーン近くで話していたが、からのグランドシニアには山岸選手のような「これが70歳のプレイヤーか」といわれるような選手がどんどん顔を出してくるかもしれないし、またぜひそれを望みたいものである。

平成16年度 関東グランドシニアゴルフ選手権決勝競技成績表

●開催日 平成16年5月28日(金) ●開催コース 東京ゴルフ倶楽部 6,269ヤード パー72

エントリー124名/出場者123名/棄権者1名/欠場者1名

順位	氏名	俱楽部	アウト	イン	合計	
1	田口喜三郎	水府	戸	38	76	
2	鈴木 正治	千	中	40	77	
2	傍島 輝雄	千	葉	39	77	
4	近藤 幸造	廣	生	38	78	
4	小治 政一	越	生	38	78	
4	土居 喬	藤ヶ谷	谷	38	78	
4	波多野康二	東	京	38	78	
8	神山 恒夫	扶	山	39	79	
8	天野 雅	茨城	城	38	79	
10	山村 亘	東京	京	41	80	
10	鶴田 静雄	メイプルボ	イント	41	80	
10	大垣 達也	相模	模	41	80	
10	岡部善三郎	中津	川	40	80	
10	小坂 孝二	八王	王	39	80	
10	吉田 光守	嵐	山	39	80	
10	後藤慎二郎	大厚	木	38	80	
17	井草 英	間	東国	43	88	
17	小川 博道	多摩	摩	42	88	
17	菅谷 三郎	東名	厚	42	88	
17	中川 雅雄	房総	総	42	88	
17	清水 祥一	扶	山	41	88	
17	大川 宗之	雨	南	41	88	
17	梶原 一徳	鶴舞	舞	41	88	
17	加々美幸男	川越	越	40	88	
17	山田真早志	廣	之	40	88	
26	山本 利次	名	名	43	88	
(以上日本グランドシニアゴルフ選手権競技出場有資格者)						
26	田米 康二	浜松シーサイド	43	89	82	
26	秋山 俊	日高	42	40	82	
26	長郷 国男	平塚 富士	見	42	40	82
26	青山健利雄	袖ヶ浦	浦	42	40	82
26	富田 一幸	ザ・鹿野	山	40	42	82
26	小林 亨	嵐山	山	40	42	82
26	羽川 米豊	豊	澤	40	42	82
26	内野 和夫	八王	子	39	43	82
35	膳原 幸雄	富士士	士	44	39	83
35	山田 享弘	富士	戸	43	40	83
35	手塚 文博	武土浦	浦	43	40	83
35	大野 光雄	大相模	模	43	40	83
35	中山 幸廣	鎌ヶ谷	谷	42	41	83
35	宮坂 昭治	本木	木	42	41	83
35	岩村 文夫	セントラル	ル	42	41	83
35	高尾 修	橋	山	42	41	83
35	水越 要	日南	摩	42	41	83
35	筒井喜久雄	南千葉	城	42	41	83
35	岡田 四郎	千葉	葉	41	42	83
35	小幡 利	根	根	40	43	83
35	大村 豊	富士箱根	箱根	40	43	83
35	森泉 清	草津	津	39	44	83
35	浅見 東司	嵐	山	38	45	83
50	塙田 正	立川国際	46	38	84	
50	岩崎 浩幸	月・佐野	43	41	84	
50	山野辺利夫	袖ヶ浦	42	42	84	
50	内藤 克彦	木更津	42	42	84	
50	永井 重吉	木更津	子	42	42	84
50	小野太三郎	松風	本	42	42	84
50	山岸 幸勇	嵐	台	42	42	84
50	吉村 金男	セントラル	42	42	84	
50	尾関 秀夫	武の宮	42	42	84	
50	柴崎 行雄	一の宮	41	43	84	
50	中島 誠	森林公園	40	44	84	
50	大曾根謙次	千葉	園	39	45	84
50	水谷 敏	桜ヶ丘	丘	38	46	84
50	田中 明夫	狹山	山	38	46	84
64	竹内 鮎	我孫子	子	46	39	85
64	新屋 忠	谷	谷	44	41	85
64	高嶋 一	嵐	山	44	41	85
64	高田 健治	磯	子	43	42	85
64	間中 正	利根	根	43	42	85
64	高橋伊佐男	G M G	八王子	42	43	85
64	岡村 光治	那須	小川	42	43	85
64	細井秀次郎	鷺	之	41	44	85
64	岩井 二郎	霞	ケ	41	44	85
64	高貝 久敬	總武	武	41	44	85
64	中村	葛	根	41	44	85
75	小谷野利三	船	江	45	41	86
75	白井 駿	江	島	44	42	86
75	友野 二郎	堺	台	44	42	86
75	横松 信二郎	江	乃	43	43	86
75	林 吉郎	金唐	沢	43	43	86
75	武田 金久	千松	葉	42	44	86
75	菅野 裕徳	戸	松	42	44	86
75	益田 一利	超千	塚	42	44	86
75	足立 今朝六	足立	津	41	45	86
84	吉村 忠宏	千裕	子	45	42	87
84	保田 宏	源壽	浦	44	43	87
84	高橋 孝一	鶴	根	44	43	87
84	今井 啓一	利	津	44	43	87
84	宮本 敏	土	山	42	45	87
84	太田 英二	桜	丘	42	45	87
84	初見 治	大	根	40	47	87
92	井上 葦	袖	根	45	43	88
92	上柳沢 彰	入	木	45	43	88
92	武田 文明	村	根	45	43	88
92	菊池 助	萬	根	44	44	88
92	比留間竹雄	比留	根	43	45	88
92	伊藤 備	門	根	42	46	88
92	綱中 一郎	宣勇	根	40	48	88
101	志田 宣夫	丸山	久夫	44	45	89
101	丸山 久夫	久夫	勝	43	46	89
101	柳田 忠彦	柳	子	43	46	89
101	牛久 忠彦	牛久	山	43	46	89
101	石川 仁	東	山	40	49	89
101	齊藤 一	芳康	山	48	42	90
101	重宗 信正	重宗	山	46	44	90
101	田中 満司	田中	山	44	46	90
111	富田 道弘	富田	純	49	42	91
111	寺門 道弘	千葉	園	45	46	91
111	伊藤辰彦	小田	原	42	49	91
111	野村 信義	飯	本	51	41	92
114	鈴木 徳	大	木	48	44	92
114	安田 伸	東	津	45	47	92
117	土屋 勝義	中	津	48	45	93
119	久保博光	茨城	城	46	45	93
120	渡邉義文	鹿児	原	48	47	95
121	山本 泰信	山城	里	55	46	101
122	魚本 信朗	筑	里	56	47	103
	戸城 章一	川添	子			
	川添 八	王	子			

予選メダリスト

第1ブロック 中島 誠(森林公園) 75ストローク
第2ブロック 鈴木 正治(府中) 75ストローク

特別表彰

(15回出場表彰) 宮坂 昭治(本厚木) / 山田真早志(嵐の台)
(10回出場表彰) 収込 弘一(入間) / 舟藤 幸雄(富士) / 高嶋 一(嵐山)
武田 博(入間) / 筒井喜久雄(南摩城) / 富田 純(嵐山)
羽川 米豊(唐沢) / 水越 要(日光) / 安田 正行(東京)
※エージュショート 山田真早志(嵐の台) 81ストローク

新規加盟倶楽部紹介

さいたま梨花カントリークラブ



1. 倉 楽 部 名 さいたま梨花カントリークラブ
住 所 〒355-0364
埼玉県比企郡都幾川村西平2042
電 話 0493-65-3711
F A X 0493-65-2525
2. 開場年月日 平成14年9月1日
3. 理 事 長 永嶋 龍次 (S.13.7.27生)
倶楽部代表者 松本 祐正、池ノ谷 進一
4. 倉 楽 部 分 科 委 員 長 選任中
5. 支配人代行 池ノ谷 進一 (S.13.12.14生)
6. 倉 楽 部 概 要

当倶楽部は一昨年の9月に「さいたま梨花カントリークラブ」として新生オープンいたしました。「都心の見える花と緑と清流のゴルフ場」をキャッチフレーズとし、都心から僅か1時間程度の距離にあるとは思えないほど豊かな自然環境

に恵まれたコースです。

丘陵コースですので全体的に高低差がありますが、各ホールは概ねフラットでフェアウェイも広めにとってあり、コース内の四季折々の多くの樹木と隨所に配されたウォーターハザードが、水と緑の調和を図った美しいコースを構成しております。しかし、フェアウェイは例外なく何れかの方向に傾いているため、ティーショットの狙いが的確でないと次打が極端に打ちにくくなる場合もあり、常に戦略性に富んだプレーが要求されます。

アウト1番の池越え、4番の谷越え、インでは12番、13番の豪快な打ち下し、17番の左ドッグレッグホールと魅力あふれる楽しいホールがたくさんあります。素晴らしい景観とあいまって上級者からビギナーまで存分にプレーを楽しんでいただいております。

また、磯崎新アトリエによるクラブハウスは、木と石をテーマとした大変個性的な設計で評判を博しております。中でもホール内に立てられた樹齢400年の4本的巨大杉柱は圧巻です。

今回の加盟を機に会員の方々と従業員が一体となって、益々皆様に愛され、そして県下でもトップクラスのゴルフ場を目指し、一層の努力をしていく所存です。

理事会・分科委員会

平成16年度
第1回 常務理事会議事録

日 時 平成16年4月20日(火) 正午
場 所 KGA会議室
出席者 吉田理事長
牛込、小宮山、普勝各副理事長
赤羽、岩宮、大原、高橋、南学、野口、萩原、広中、森川、

渡邊各常務理事
同 席 富田ハンディキャップ委員長

定刻、吉田理事長、議長を務め開会を宣し、議事録署名者として南学正昭、野口正三両常務理事を指名した。

—討議及び決議事項—

- ①委員任期について
②法的整理ゴルフ倶楽部の捉え方

小宮山副理事長より、委員長、委員の任期について、規約の定めがないため、慣行として行われている現方式を明文化し、任期は委員長2年、委員1年、また重任を妨げないこととし、期間は総会より総会までとする案が上程され、明文化する方向で承認された。

③法的整理ゴルフ倶楽部の捉え方
小宮山副理事長より、次の報告があった。
法的整理内容も一様ではない、ゴルフ振興のためであれば経営母体、倶楽部に関係なく年会費を支払っているか否かを判断の基礎とした。

未納倶楽部については、会員資格の一時停止、退会勧告、役職停止などを実行するよう規約変更も含めて検討したい。

④退会倶楽部について
事務局より、平成16年2月4日付にて朝霧カントリークラブの脱退申出書を受領したことを報告、規約により退会承認となった。

⑤退任理事について
小宮山副理事長より、次の説明および提案があった。

茨城県（龍ヶ崎カントリー倶楽部）砂金俊夫理事、神奈川県（相模カンツリー倶楽部）近藤久男理事が倶楽部代表者を退任され連盟規約第14条による資格喪失のため、KGA理事を退任された。その補充については、次期改選期（H17総会）まで1年に満たないので、欠員のままとしたい旨を提案、承認を得た。

⑥年会費未納倶楽部の競技出場資格について
事務局より、次の説明及び提案があった。

16年度競技参加申込にからむ具体的な事例を紹介し、

⑦法的整理倶楽部より、前年度の年会費につき日割り計算で、法的整理申立日以降分が納入された場合には、当年度の競技参加を認める。前述の特定倶楽部だけでなく、現時点及び今後の同等の状況下の倶楽部についても同等の扱いとす

る。
⑧但し、今後については、政策的な観点から別途、総務委員会において、検討頂くことをお願いする。
各理事より、一般の倶楽部から見ればアンフェアであり、県によっては会費未納倶楽部会員は公式競技には出させていない、等の意見があり、15年度年会費対応分に限り追認することとして承認された。

(2)ハンディキャップ委員会

同席の富田ハンディキャップ委員長より次の報告があった。

⑨JGAハンディキャップ新規定及び女子ハンディキャップについてJGAにおいて決定された経緯、内容について

⑩「J-sys」再構築について
なお、事務局より、再構築について費用等の説明がなされた。

(3)コース・レート委員会

大原常務理事より以下の報告がなされ承認された。

⑪女子コース・レーティング査定について
KGAの査定対象とするティーインググラウンド数は、男子レーティングの置き換え4箇所と女子の2箇所を合わせた最大6箇所までとする。

(2)査定費用について

査定費用の全国統一についてJGAハンディキャップ委員会において議論されたが、各地区連盟の入会金、年会費とのかかわりもあり一概には論じられない問題もあり、慎重に検討していくこととした。

(4)規則部会

野口常務理事より以下の報告がなされた。
2004年規則改定にかかる説明会を、都県下3ヶ所で実施した。

(5)カード部会

高橋常務理事より以下の報告がなされた。
全般的なカードサービスの見直し、並びに各都県競技参加者へのアピールを検討している。

②その他

(1)諸会議日程について
会議日程につき次の通り提案され承認された。

常務理事会開催日

- 第2回常務理事会
16年7月8日(木) 正午
KGA会議室
- 第3回常務理事会
16年11月16日(火) 正午
KGA会議室

理事会開催日

- 第2回理事会
16年11月30日(火) 正午
ルビーホール
- 第3回理事会
17年1月20日(木) 正午
ルビーホール

● 第57回通常総会
17年2月22日(火) 午前10時
ホテルニューオータニ

(2)JGA個人会員入会審査の件
議長の指名を受け事務局より、4月20日現在、入会申請のあった26件について、これを承認し、(財)日本ゴルフ協会に名簿を提出したい旨報告し、承認された。

(3)JGAのJGA倶楽部検討プロジェクト「JGA倶楽部創設に向けて」(新個人会員制度の検討)について
小宮山副理事長の説明を受け意見交換がなされ、KGAとしては「種々の問題点があり、時間をかけて討議したい」旨をJGA宛提示することとした。

全議事終了後、吉田理事長14時20分閉会を宣した。

理事会・分科委員会

平成16年4月20日
議事録確認署名者
議長 吉田 友明 (印)
署名者 南学 正昭 (印)
署名者 野口 正三 (印)

平成16年度 臨時常務理事会(第2回常務理事会)議事録

日 時 平成16年6月25日(金) 正午
場 所 ルビーホール 羽衣の間
出席者 吉田理事長
牛込、小宮山、普勝各副理事長
赤羽、大原、齋藤、篠崎、高橋、塚原、南学、野口、萩原、広中、森川、渡邊各常務理事
同 席 富田ハンディキャップ委員長
下川氏(ソラン・ハンディキャップ計算センター長) 議題
1終了後退席

定刻、吉田理事長、議長を務め開会を宣し、議事録署名者として萩原剛、広中三男両常務理事を指名した。

—討議及び決議事項—

①「J-sys」再構築について

(1)富田ハンディキャップ委員長より次の説明を行った。
現行のシステムは、6年前に各俱楽部によりパソコンを設置し、計算センターとオンラインで結んでスタートした。現在連盟加入俱楽部250俱楽部、社日本パブリックゴルフ場事業協会、カード会員等の個人会員を含めた合計18万人の会員に対し、スコアカード年間80万枚の処理を行っている。
今般JGAハンディキャップ規定の改定、及び女子ハンディキャップ制度の発足に伴いシステムの再構

築が必要となっている。システム再構築には、従来システムの変更で対応するか、新しくWEB方式で対応するかという2つの選択肢がある。
(2)統いてソラン下川氏より資料に基づき両方式の詳細説明が行われた。導入及び運用費用については、事務局より詳細説明を行った。
(3)審議の結果、時代の流れを考慮して、WEB方式にてシステムを再構築することとし、そのシステム開発は、現「J-sys」運営会社のソラン株式会社へ委託することとした。なお、ハンディキャップ委員会での内容周知、俱楽部担当者への説明が必要との付議がなされた。

②その他

(1)入会審査について
①加盟申請俱楽部(さいたま梨花カントリークラブ)
推薦理事俱楽部の高橋常務理事より推薦事由につき説明がなされ、加盟を承認した。
②JGA個人会員
事務局より入会申請のあった入会要件充足者98名についてこれを承認し、財日本ゴルフ協会に名簿を提出したい旨報告し、承認された。
(2)加盟俱楽部登録ホール数について
事務局より次の説明を行った。「平成13年1月入会のロックヒルゴルフクラブより従来メンバーコースとして運用していた36ホールのうち18ホールをメンバーコース運用とし、残18ホールをパブリックコース運用としている。については関東ゴルフ連盟への加盟内容も18ホールのみとしていただきたい」との申出がなされている。
審議の結果、上記の申出を承認し

た。なお、一般的な承認基準の設定について今後総務委員会にて検討することとした。

③後援競技承認の件
①後援申請の出ている次の5競技(前年度も承認済)の後援を承認した。

第30回茨城県アマチュアゴルフ選手権大会
第26回埼玉県アマチュアゴルフ選手権大会
2004 茨城アマチュアダブルスゴルフ選手権大会(第17回)
2004 茨城女子アマチュアダブルスゴルフ選手権大会(第3回)
ゴルフネットワーク選手権チューリッピカップ2004

②第14回日本シニアオープンゴルフ選手権大会(平成15年度第3回理事会にて後援承認)
財日本ゴルフ協会より会場変更につき承認方の依頼があったので経緯に鑑み了承したい旨報告し、承認された。

③次の(4)について後援を承認し、(4)については、前年の大会の実施要領により事務局にて公益性等を判断することを条件として、後援を承認した。
(7)第2回千葉県ゴルフ場選手権競技大会(昨年名称:千葉県スクラッチ選手権競技大会・後援承認)(実施日確定次第正式に後援要請)

④第8回栃木県オープンゴルフ選手権
(4)JGAゴルファーズ俱楽部(仮称)小宮山副理事長より、「JGAゴルファーズ俱楽部」(計画)の概要につき説明がなされた。

⑤次回常務理事会日程の件
事務局より、平成16年7月8日開催予定の第2回常務理事会は本会(臨時常務理事会)をもってこれに代え、次回開催予定日を平成16年11

月16日(火)(第1回常務理事会にて承認済)としたい旨説明し、承認された。

全議事終了後、吉田理事長14時20分閉会を宣した。

平成16年6月25日
議事録確認署名者
議長 吉田 友明 (印)
署名者 萩原 剛 (印)
署名者 広中 三男 (印)

平成16年度 第3回 月例競技委員会議事録

日 時：平成16年4月30日(金)
正午
場 所：関東ゴルフ連盟事務局会議室
出席者：中野委員長
小室、平山兩副委員長
神津、小坂、桜井、鷗島、額賀、渡辺各委員
学生連盟委員

—討議及び決議事項—

①4月度月例競技報告及び総括
小室副委員長より、下記の報告及び総括がなされた。
「天候は快晴だったが、風が少し強かったので選手は苦労した様子だった。グリーンの硬さは適度であり、速さは3.1mにセッティングされていたが、スコアは1アンダーが一人だけで意外と好スコアは出なかった。83ストロークの選手1名が失格したため84ストロークの選手18名が一ヶ月の出場停止を免れた。」
エントリー数他は以下のとおり

16年4月30日(金)
コース 相模原ゴルフクラブ・東コース
エントリー 165名(男子131名
女子34名)+キャン

セル待ち8名
欠場者数 事前連絡10名
(男子7名、女子3名)
当日連絡0名 無断
欠席0名
出場者数 163名(男子132名
女子31名)

料 罰 者 0名
ミーティング出席 1名(男子1名)
失 格 者 1名(男子1名)
棄 権 者 0名
次回プレーオフ なし

②5月度月例競技について

5月度月例競技は相模カンツリー俱乐部にて開催されるが、コースセッティングは中野委員長、および渡辺委員に一任することを確認した。

③その他

(1)出場人数制限について
出場選手の増加に伴い、過去6回中4回の競技で出場人数制限を行ったが、選手より「毎月エントリーしているが、(出場人数制限のため)毎月出場出来ない。このままでは、出場する機会が訪れないのではないか。」との抗議があった。よって月例競技委員会では、下記の通り規定を改定し、対応することとした。

①出場優先順位の変更
(変更前)
第一優先：当該年度の獲得ポイント上位者
第二優先：過去11回の競技実績で出場回数の多い者
第三優先：申込み受付先着順
(変更後)
第一優先：当該年度の獲得ポイント上位者

第二優先：過去2回の競技において、いずれも出場制限のため出場できなかつた者

第三優先：過去11回の競技実績で出場回数の多い者
第四優先：申込み受付先着順

この変更により、二ヶ月連続で(出場人数制限により)出場できなくとも、次の月は優先的に出場できることとなった。

②成績による競技出場停止の変更
(変更前)

1回出場停止(男子)：
71位以下
1回出場停止(女子)：
31位以下
2回出場停止(男子)：
101位以下または優勝ストロークから20ストローク以上離れた者
2回出場停止(女子)：

46位以下または優勝ストロークから20ストローク以上離れた者
(変更後)

1回出場停止(男子)：
61位以下
1回出場停止(女子)：
31位以下(変更なし)
2回出場停止(男子)：
91位以下または優勝ストロークから16ストローク以上離れた者
2回出場停止(女子)：

46位以下または優勝ストロークから18ストローク以上離れた者
この変更により、同じ選手が連続して出場する条件が厳しくなったので、より多くの者に出場する機会ができたことになる。

尚、この規定の改正は、平成16年6月度競技より実施する。

月例競技成績表

[平成16年度4月月例] 平成16年4月16日(金) 相模原ゴルフクラブ・東コース

男子	ランク	スコア	氏名	俱楽部
1	71	宮本 清	小 川	
2	73	水上 晃男	鶴 舞	
3	74	松田 永基	清 川	
4	75	中島 正春	皐月・佐野	
4	75	平木 文明	相 模 原	
4	75	澤田 信弘	東京五日市	
4	75	小林 一三	リバー富士	

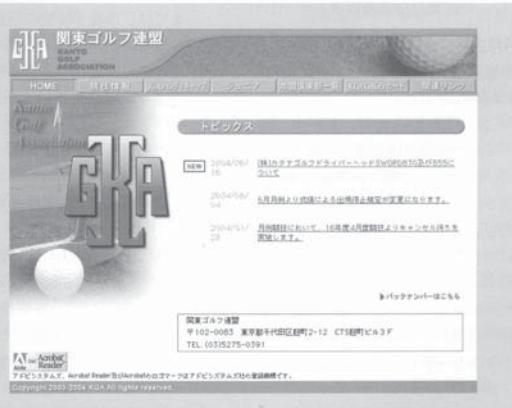
女子	ランク	スコア	氏名	俱楽部
1	75	南雲 真理	岡部チサン	
2	78	落合 麻紀	小田原・松田	
3	80	佐藤 里菜	ロイヤルスター	

お知らせ

関東ゴルフ連盟「加盟俱楽部便覧」の変更事項は次記のとおりです。訂正加筆をお願い申し上げます。(7月21日現在)

俱楽部名 （新）大厚木カントリークラブ （旧）スポーツ振興大厚木カントリー俱楽部	（新）西郷 博久 （旧）牧野 豊 ■大厚木カントリークラブ （新）竹生 道臣 （旧）福地 克男、荒井 敏	（新）高根澤 尚 （旧）平井 進 ■大秦野カントリークラブ （新）内田 具徳 （旧）武田 宗之
理事長 ■白帆カントリークラブ （新）鬼沢 忠治 （旧）鈴木 正義	支配人 ■都ゴルフ俱楽部 （新）小俣 庄一 （旧）濱崎 伸顕	準会員 会長 ■財日本ゴルフ協会パブリックゴルフ場事業協会 （新）浅井 光昭 （旧）桂田 鎮男
■筑波カントリークラブ （新）原 良也 （旧）安藤 重寿	■サンランドゴルフクラブ東軽井沢コース （新）稻葉 計二 （旧）高橋 勇	体協会員 会長 ■板木県ゴルフ連盟 （新）篠崎 勝宏 （旧）滝沢 武
■彩の森カントリークラブ （新）本間 達三	■鹿沼72カントリークラブ （新）瀬崎 明男 （旧）秋澤 久	HDCP ■柏崎黒姫カントリー俱楽部 無し→J-sys
■平川カントリークラブ （新）松田 武司 （旧）近藤 基	■サンランドゴルフクラブ那須コース （新）島田 哲 （旧）稲葉 計二	■筑波カントリークラブ 無し→J-sys
俱楽部代表者 ■筑波カントリークラブ （新）原 良也 （旧）安藤 重寿	■浅見カントリー俱楽部 （新）遠山 幸博	■カナリヤガーデンカントリークラブ 無し→J-sys
■彩の森カントリークラブ （新）本間 達三	■筑波カントリークラブ （新）海原 茂喜 （旧）新保 正勝	■キングフィールズゴルフクラブ ▲→●
■平川カントリークラブ （新）松田 武司 （旧）近藤 基	■飯能ゴルフクラブ （新）西村 博 （旧）島田 圭二	会社名 ■東部須カントリークラブ （新）スポーツ振興㈱
■桜ヶ丘カントリークラブ （新）地曳 俊雄 （旧）近藤 勉	■エンゼルカントリークラブ （新）柴田 篤夫 （旧）高橋 和久	
	■森永高滝カントリー俱楽部	

関東ゴルフ連盟の競技情報、
JGAハンディキャップ、
KGAゴルファーズカードなど最新の活動内容がホームページでご覧いただけます。



[http://
www.kga.gr.jp](http://www.kga.gr.jp)

平成16年9月1日発行 KGAニュース No.86
発行所／関東ゴルフ連盟 東京都千代田区麹町2-12 CTS麹町ビル3F TEL.(03) 5275-0391
発行人／吉田 友明 編集／広報委員会